

(別紙5)

補助事業番号 27-2-004

補助事業名 平成27年度「子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動」補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人ヒューマンサービスセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

DV被害を受けたり目撃した子が、安全感を取り戻して生活していける社会を創る

(2) 実施内容

<http://www.human-service-center.org/>

		
シンポジウム	シンポジウム:	シンポジウム
		
部屋の様子	母子キャンプ：:拾った野草で花束	母子キャンプ：山道急な崖を上る

- 1) ステップハウス事業 加害者から離れて、新しい生活に入る前、スタッフの見守りがある中で、中長期に滞在できる場所の運営。当事者が学校や仕事にも行けるなど、安心して次の生活の基礎を再建していく。
- 2) 相談事業 家族や人間関係の悩み、暴力被害などについて、じっくり耳を傾けて、共に考える。
- 3) キャンプ事業 母子で生活している親子を招待し、安全、安心な場、日常生活と違う自然環境の場で遊び互いに交流する。母は、一人ではなく、参加する皆でそれぞれの子どもを見守られ、見守る体験を、子どもたちは受け入れ先の大人（男性とも）たちと安定したコミュニケーションを体験する。
- 4) シンポジウム事業 DV被害者への支援体制について課題を共有し、今回は「母子及び外国籍母子の支援」について、当事者の存在と、必要な助けや支援を地域でどのようにひろげられるか、法律の枠組みで足りない部分を補えることはなにかについて、意見交換を行い交流した。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

被害当事者が安全感を体験して、次の生活への見通しをつけてもらうためのサポートを行った。助けが必要な時には支援を求めること、解決方法を一緒に模索することを通して、孤立と自立のちがいを、自分の生活を取り戻す力を感じてもらう。

子どもたちには、自然のなかで母と一緒にだが密接になり過ぎずに、友人を作り、怒鳴らない、暴力的でない大人とのコミュニケーションを体験する。

シンポジウムでは、地域の活動団体が支援が必要な当事者への配慮を理解し、一緒に安心な社会で子どもをはぐくむ大切さを共有し、安全な社会を創る担い手を育てる方法について情報交換、活動ひろげて、一般への理解を深めた。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

・シンポジウムちらし

「地域にひらく・育てる 安全な支援 シンポジウムディスカッション」

・一般社団法人WERC サイトにて、2015年シンポジウム報告

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人ヒューマンサービスセンター

住所： 〒154-0004

東京都世田谷区太子堂5-24-20-201

代表者： 理事長 片岡 千鶴子 (カタオカ チヅコ)

担当部署：

担当者名： 事務局長 深澤 純子 (フカザワ ジュンコ)

電話番号： 03-5431-3325

F A X： 03-3414-0664

E - m a i l： npohcs@human-service-center.org

U R L： <http://www.human-service-center.org>